

MEIJI MURA

明治村だより
2026 SUMMER

122

明治村の建築に視る日本近代青春群像物語 (22)
北里研究所本館・医学館の佇まいと
“終始一貫”の精神(北里柴三郎)を支えたもの(その1) …… 2
星野高士先生と詠む 明治村吟行句会 …… 4
夏の催しもの …… 5
水銀槽式回転機械
～灯台黄金期を支えた革新的技術～ …… 6



明治村みらい基金



私たちの未来を豊かにする「明治」の価値 一緒に残し、伝えていきませんか

歴史的建造物を中心とした「明治時代からの贈り物」を未来へ残し続けるためには、多くの資金が必要です。明治村事業へのご支援をお願いします。

ご寄付の方法

明治村みらい基金へのご寄付は、以下の方法で行うことができます。

- ・クレジットカード ・金融機関からの振込
- ・ゆうちょ銀行からの払込

1回3,000円からご支援いただけます(マンスリーサポーターは月額1,000円から)
公益財団法人明治村へのご寄付は税制上の優遇措置の対象となります。

詳しくは博物館明治村公式サイト内「明治村みらい基金」をご覧ください。



ご返礼の内容

ご支援額に応じて、感謝の気持ちを込めたご返礼をお届けいたします。
〈返礼品の例〉
【マンスリーサポーター】毎月メールマガジンを配信し、歴史的建造物や歴史資料の修理・保存をはじめとした明治村での様々な活動の様子をご報告いたします。
【年間3万円～】明治村ペア入村券進呈 等
【年間10万円～】現地での活動報告ツアーご招待(建築・学芸・乗物各担当がご案内する特別なツアー)、ご支援者さまの集いご招待(明治村みらい基金1年間の活動報告)、第二のふるさと住民票発行(1年間入村無料) 等

「ご支援者さまの集い」を開催しました

令和8年3月22日(日)、「明治村みらい基金」へ一定のご支援をいただいた皆さまをご招待し、1年間の活動報告を行う「ご支援者さまの集い」を開催しました。

当日は、建築・学芸・乗物の各担当から、皆さまからのご寄付を

どのように活用させていただいたかを、裏話を交えながら詳しくご報告しました。また、担当者が用意した貴重な資料を公開し、ご支援者の皆さまとスタッフが歓談を楽しむ時間となりました。



協賛会員

(令和8年5月1日現在)

敬称略:五十音順

ゴールド会員

(株)田中荘介商店 東朋テクノロジー(株) (株)ファーストシステム 名鉄都市開発(株) 矢作建設工業(株)

一般会員

アイカ工業(株) (株)安藤・間 因幡電機産業(株) NTT西日本(株) (株)大林組 (株)関電工 (株)鴻池組 五洋建設(株) (株)シーイーテック スターツ東海(株) 大興建設(株) (株)谷澤総合鑑定所 東京海上日動火災保険(株) (株)中島工務店 (株)二幸 日本郵便(株) (株)日立製作所 ホーチキ(株) 三菱商事(株) 名鉄エリアパートナーズ(株) (株)名鉄ホテルホールディングス (株)リノテック	アサヒ飲料(株) (株)磯部組 (株)魚津社寺工務店 (株)NTTファシリティーズ 岡谷銅機(株) ぎふ金華山ロープウェー 興和地所(株) (資)斉木研磨工業所 柴山コンサルタント(株) (株)スペース 大成建設(株) 中京テレビ放送(株) 東洋電機製造(株) 中村耳鼻咽喉科(春日井) 西松建設(株) (有)ねこりす (株)ファミリーマート 前田建設工業(株) 三菱電機(株) (学)名鉄学園 (株)名鉄ミライート 若松物産(株)	アサヒビール(株) (株)伊藤園 NTTドコモビジネス(株) NTP名古屋トヨペット(株) (株)オノコム キリンビバレッジ(株) コクヨマーケティング(株) (株)ザイマックス 清水建設(株) (株)扇港電機 (株)タカラレーベン 中設エンジ(株) 戸田建設(株) 名古屋レジデンシャル(株) 日鉄興和不動産(株) 能美防災(株) (株)フジタ (株)みずほ銀行 名高土木(株) 名鉄協商(株) (株)ヤシマキザイ	厚見建設工業(株) 伊藤忠商事(株) NTT都市開発(株) オーパススタイル(株) 鹿島建設(株) (株)熊谷組 (株)ココトモファーム 佐藤工業(株) (株)新高土木 ダイキン工業(株) (株)竹中工務店 鉄建建設(株) 鳥谷尾建築研究所 (有)鍋野事務所 日本たばこ産業(株) (株)長谷工コーポレーション (株)不動テトラ 三井不動産(株) 名鉄EIエンジニア(株) 名鉄ビルサービス(株) (株)LIXIL
---	---	--	---



「明治村だより」第122号(令和8年夏号) 令和8年7月17日発行

発行 博物館明治村 〒484-0000 愛知県犬山市字内山1番地 電話 (0568)67-0314 <https://www.meijimura.com>

製作 大日本印刷株式会社

「明治村だより」第123号発行のお知らせ

発行時期 令和8年9月予定

「明治村だより」は、順次Webで公開させていただきます。詳しくは博物館明治村公式サイトをご覧ください。

※郵送サービスは終了いたしました。ご了承ください。

表紙について 名鉄電車ポスター「犬山の鶏飼」 画／吉田初三郎・昭和3(1928)年

北里研究所本館・医学館の佇まいと 「終始一貫」の精神（北里柴三郎）を支えたもの（その1）

館長 中川 武

一 北里柴三郎と 明治という時代

黒船来航が、明治という時代の幕開けに重大なインパクトを与えたことは間違いない。くしくも黒船来航と同じ嘉永五（一八五三）年に、北里柴三郎は熊本県阿蘇郡小国郷北里村（現在の阿蘇郡小国町北里）の士族の家系に生まれて

いる。

北里は、明治維新の激動を担った若き獅子達に続く世代の地方の秀才として、明治という転換期がつくりだす巨大な磁場のエネルギーを宿命的に受けて育ったことは想像に難くない。それにしても、改めて北里の事蹟を辿っていくと、北里こそ明治という時代の申し子であったと思わされる。

北里は東京大学医学部を明治十六（一八八三）年に卒業すると、内務省衛生局に奉職し、伝染病（註二）予防に取り組む。明治十九年からドイツに留学し、当時既に病原微生物学の権威であったローベルト・コッホ（写真1・註三）に師事した。六年目に破傷風菌の純粋培養に成功し、その毒素に対する免疫抗体を発見、さらに血清療法（註四）の確立へと結実した。このことはわが国における細菌学の先駆けといふにとどまらず、世界的な偉業として高く評価された。自ら考案した装置「嫌気性菌培養装置」を前にする北里（写真二）には、研究者、医者、技術者、職人——そのいずれの枠にも収まりきれない、多能の人物ならではの独特の風格が漂っている。

これは風変わりな装置のためばかりでもあるまい。コッホは後に、北里が来た当初はド

受け止められ、いかに根付いていったか——それを辿るとき、明治の日本の来し方をそのまま見るような思いにとらわれるのである。

二 「終始一貫」の精神を 育んだ場所

北里柴三郎の座右の銘といえば「終始一貫」



写真4 北里自筆の書「終始一貫」(※)



写真5 生家（北里柴三郎記念館提供）



図1 小国町と阿蘇山の位置関係

存に心を配っておられる。

私が小国町を訪れた際、阿蘇山の迫力ある噴煙が思いのほか近くに望まれた（註一）。しかしその周囲には広大な裾野と雄大な自然が広がっていた。この大自然の中からこのような人物が生まれたことに、強い感銘を覚えた。

彼はもともと政治家を志し、新しい知識を学ぶために熊本へ出てオランダ人医師コンスタン・ゲオルグ・ファン・マンズフェルト（註

二）に師事し、オランダ語を学んだ。彼は東京大学医学部（註七）でも指導者を目指して学生弁論活動にも力を注いだ。彼の演説草稿「医道論」はまさに、医学・医療の目的は、個々の研究や診察にとどまらず、その研究成果を活

抗毒血清： 毒素と結合して 毒作用を中和	ジフテリア血清
	乾燥ジフテリア血清
	破傷風血清
	乾燥破傷風血清
	赤痢本型菌血清
抗菌血清： 菌と結合して 凝集・沈殿・溶菌または 食細胞の食菌を促進	連鎖状球菌血清「しょう紅熱用」
	志賀赤痢血清
	コレラ血清
	腸チフス血清
	連鎖球菌血清
	流行性脳脊髄膜炎血清
	肺炎球菌血清
	インフルエンザ菌血清
	ペスト血清
	腺疫血清「獣医用」
ワクチン： 生体に接種して 能動免疫を与える 抗原物質	健康「ウマ」血清
	コッホ博士旧ツベルクリン
	コッホ博士新ツベルクリン
	コッホ博士無蛋白ツベルクリン
予防接種用 弱毒生ワクチン	浅川氏丹毒治療液
	痘苗（痘瘡ワクチン）
感作ワクチン （予防接種ならびに治療用）	狂犬病予防液
	梅野狂犬病予防液
	志賀感作結核ワクチン
	感作淋菌ワクチン
	感作コレラワクチン
	感作腸チフスワクチン
	チフス菌ワクチン
	百日咳菌感作ワクチン
	葡萄状球菌感作ワクチン
	肺炎球菌感作ワクチン
	連鎖状球菌感作ワクチン
	流行性脳脊髄炎菌感作ワクチン
	インフルエンザ菌感作ワクチン
	ペスト菌感作ワクチン
予防接種用 加熱死菌ワクチン	赤痢予防液
	コレラ予防液
	腸チフス予防液
	インフルエンザ菌ワクチン
	腺疫ワクチン「ウマ用」
予防接種用 アナトキシン	ジフテリア予防液
	古賀チアノクプロール
	パラジトール

図3 北里指導下の研究所で開発・製造・販売された治療予防薬



写真7 ベルリンにて石黒忠恵を迎えた医学留学生たち(※)



写真6 森林太郎
(国立国会図書館「近代日本人の肖像」より)

かして広く予防し、公衆の救済を制度的に図ることにあるとしたものである。志望を政治から医学に変えたのではなく、世の救済という志は終始一貫していたのである。

とりわけ明治期は、伝染病予防は軍事力保全とも直結する国家的課題であった。北里がコッホのもとで学んでいた頃、森鷗外こと、森林太郎も陸軍軍医（写真六）としてベルリンに滞在しており、医学関係者の集合写真に両名が同席している（写真七）。日本の衛生制度や医学行政の未成熟に強い問題意識を抱いていた森に対して、北里は、細菌学研究を通じて伝染病対

浴衣なら
入材料が
半額!

※夏の明治村
開催日のみ

宵の明治村

8/8(土)~16(日)、
22(土)・23(日)、29(土)・30(日)
20:30まで延長開村!

※入村は20:00まで。 ※一部エリアは17:00まで。
※荒天時は延長開村中止の場合があります。

花火競演

※荒天中止

ライトアップされた歴史的建造物と、間近で見られる鮮やかな花火との競演をお楽しみください。

時間

20:00~

会場

帝国ホテル中央玄関前
芝生広場付近

体感型プロジェクションマッピング 夏祭り

花火、狐面、水ヨーヨーなどの「夏祭り」をイメージする映像で天主堂の壁面や天主堂前の広場を彩るほか、広場の映像に触れると花火が打ち上がったたり狐面が動き出したりなどの変化が楽しめます。

時間

18:45~20:30

会場

聖ザビエル天主堂および天主堂前広場

協力

名古屋造形大学

野外ステージショー

※雨天中止

時間

①18:30~②19:30~

会場

帝国ホテル中央玄関前芝生広場

明治偉人隊

明治の偉人たちによる歌と踊りのステージショーをお楽しみください。

琉球國祭り太鼓

沖縄の伝統芸能エイサーに空手の型を取り入れた独自の振り付けと、ダイナミックなパチさばきをご堪能ください。

JAZZ SURVIVOR

大人からお子様まで楽しめるJAZZライブをお届けします。
※ボーカルは開催日により異なります。

常盤

日本の伝統美を発信するべく、愛知県を拠点に国内外で活動するよさこいチーム。息の合ったダイナミックなパフォーマンスをお楽しみください。

大治太鼓 尾張一座

尾張地方に伝わる「神楽太鼓」をルーツにもつ和太鼓集団。曲芸性、創作性の高い優雅かつ斬新な演奏をぜひご体感ください。

Chika de Bossa

(チカ・ジ・ボッサ)

ギターやボーカル、フルートによる、アコースティックで心地よいボサノヴァ・サウンドをお楽しみください。

宵の体験工房

時間 15:00~19:30 ※最終受付は19:00(体験時間 各20~25分)

参加料 各1回600円

会場 名鉄岩倉変電所

オリジナルランプシェードをつくろう!

お気に入りの紋のデザインを選び、オリジナルのランプシェードをつくろう!

時間

16:30~20:00

会場

呉服座前

ステンシルでうちわを飾ろう!

明治村の建造物にちなんだデザインからお気に入りの型紙を選び、好きな色でうちわを飾ろう!

時間

16:30~20:00

会場

呉服座前

竹灯りの径

遊歩道に飾られた温かな竹灯りの光が宵の明治村へ誘います。

場所

帝国ホテル中央玄関裏通路

夏の夜の思い出に写真を撮ろう!

金魚ちょうちん 遊泳

江戸末期から受け継がれる山口県柳井市の「金魚ちょうちん」で飾られた愛くるしいフオトスポット!

会場

半田東湯前

和傘アート 光の華

色とりどりの和傘で飾られた華やかなフオトスポット!

会場

小泉八雲避暑の家付近

学芸員の小部屋

「夏」だって暖炉は部屋の華

暖炉は洋館の顔であり、和室の「床の間」同様、部屋の「華」ですが、冬だけのものと思いませんか? 実は「夏」にも素敵な役割を果たしていました。四季を通じて部屋を彩った暖炉と暖炉衝立で、古の洋館の夏ならではの粋なしつらえをお楽しみください。

時間

7 25(土) 9 6(日)

会場

千早赤阪小学校講堂

※休村日を除く

各イベントの詳細は、明治村公式サイトをご覧ください。

策の実践的な道を切り開いていったことから
対照的に語られることがあるが、両者は方法こそ異なるものの、ともに近代日本の医療と衛生の向上を目指した点では共通していたといえる。森の抱いた問題意識が彼の文学活動、歴史小説などに少なからぬ影響を与えたのかもしれない。北里もまた明治という時代の壁にぶつかるところになる。

明治二十五年、北里は福澤諭吉の支援を得て、わが

図2 「国民新聞」の記事より伝染病研究所の挿絵(※)

写真8 国立伝染病研究所辞職に際し全員集合写真(※)

国最初の伝染病研究所(図2)を創設した。ほぼ個人住宅の規模であったが徐々に拡大発展し、当初の目標でもあった国の所管への移管が実現した。しかし日露戦争の戦費拡大を主因とする財政的事情から、研究所は予防行政中心の内務省から研究に重きをおく文部省へと移管されることとなった。総合的な伝染病対策が困難になるとして北里は猛反対したが叶わず、結局、北里は伝染病研究所所長を辞し、新たに私立の北里研究所を立ち上げた。北里に従って国立の伝染病研究所を去った多くの門下生たちとの集合写真が残されている(写真8)。北里の「実際に役立つ」という合理的明治精神は、狭い実利ではなく、何が真に大切な理想なのかという問いに支えられていた。事実、私立研究所になっても、血清の製造など予防の総合対策は着実に進められていった(図3)。

(※)は全て学校法人北里研究所北里榮三郎記念博物館提供

註一 平成十一年「伝染病予法」廃止以前の事項については「伝染病」の語を用いる。

註二 KOCH, Heinrich Hermann Robert :1843-1910 ドイツの医師、細菌学者。開業医から衛生技官を経て、一八七六年に炭疽菌、一八八二年に結核菌、翌年にコレラ菌を発見した。一九〇五年ノーベル生理学・医学賞を受賞。

註三 参考文献(一)より

註四 BEHRING, Emil Adolf von :1854-1917 ドイツの細菌学者。陸軍軍医、ベルリンの軍医学校教官を経て、一八八九年ベルリン大学衛生学研究室でコッホの助手となる。

註五 参考文献(二)より

註六 MANVELDT, Constant George van :1832-1920 オランダの海軍軍医、一八六六年に来日し、長崎熊本、京都などで医学を教える。一八七九年に帰国。当時は「東京医学校」(一八七七年に東京大学医学部と改称)。

註七

参考文献

(一) 宮島幹之助編 一九三三年「北里榮三郎傳」北里研究所

(二) 森孝之編 二〇一三年「資料から見る北里榮三郎の功績」学校法人北里研究所

(三) 博物館明治村 二〇一二年「北里研究所本館・医学館保存修理工事報告書」

星野高士先生と詠む 明治村吟行句会

6月9日(火)、鎌倉倉子立子記念館館長として俳句の研究や創作で活躍されている俳人・星野高士先生をゲストに迎え、俳句の魅力について阿川佐和子村長とお話いただきました。当日の参加者の方には、明治村を巡って詠んだ句を投句していただき、出演の2名が選句および句評を行いました。ここでは受賞作品および星野先生・阿川村長・中川館長の句をご紹介します。

天賞

●紫陽花や 汽車の帰りを 待つ小径
○薔薇には棘 漱石は 胃の痛み

地賞

●蟻知らず 明治久しき 昔とは
○残鶯と トンカチの音と 天主堂

人賞

●どんみりと 監獄の屋根 梅雨に入る
○黒南風や 病棟屋根の 換気塔

入賞

●梅雨の蝶 惜命の影 隠しをり
●周遊の バスの空っぽ 濃紫陽花
●明治村 光と影の 夏ホテル
●子規はまだ 村のどこかに 夏の蝶
●文机に 漱石と猫 夏椿
●緑蔭に 洒落た明治の 甦へる
●梅雨晴れや 香る明治に 深呼吸
●六月の 駄菓子屋で買ふ 金平糖
●ひつそりと 開演を待つ 座の涼し
●行先の 定まらぬ日や 青嵐
○瓦斯燈に 何かの模様 梅雨晴間
○サーベルに 似ぬ駐在の 笑ひ皺
○薔薇窓より 夏光七色 天主堂
○曇天に 笑ふ偉人や 四十雀
○灯台の 白亜やはらか 薄暑かな
○緑蔭を 円くめぐりて 池の鯉
○人声の 抜けて来たりし 青もみぢ
○夏つばめ 生家ザビエル 天主堂
○遠雷の 空静寂の 猫の家
○十台の 扇風機座す 芝居小屋

星野高士先生の句

あぢさゐに 明治の色の ほどほどに
漱石と 虚子との間合ひ 梅雨晴間

阿川佐和子村長の句

青もみじ 神のまにまに 仰ぎけり
小あじさい 一輪のぞく ハート型

中川武館長の句

紫陽花や ライトを目指し 残すため
ポーツマス こむらがえりの さみだるる

稲垣喜美子

岩崎政美

松永みよこ

高井真子

今井美貴子

吉永初恵

加藤緑

高倉節子

板原優子

小原麻貴

杉江知治

関谷恭子

柳内恵子

近藤みよ子

笹岡久子

酒井正

森崎透

杉山恵美子

村山恭子

沼田博古

近藤節子

島津余史衣

野口良恵

池亀由美子

歌代美遥

森哲也

(敬称略、●=星野先生選句、○=阿川村長選句)

5

4

水銀槽式回転機械

（灯台黄金期を支えた革新的技術）

公益社団法人 燈光会
三宅 真二

はじめに

博物館明治村三丁目の菅島燈台附属官舎内には、三重県鳥羽市の神島灯台で使用されていた四等閃光レンズが展示されています（写真1）。このレンズは昭和二（一九二七）年に神島灯台に設置され、約八十年間にわたり伊勢湾を出入りする船舶の重要な目印として活躍しました。



写真1 菅島燈台附属官舎内で動態展示されている旧神島灯台四等閃光レンズ

平成十八（二〇〇六）年に新しい灯器へ更新されたことを機に明治村へ移設されました。灯台のレンズを展示している施設は、全国に多数ありますが、灯火を点灯し、レンズを回転させて常設展示している施設は珍しく、現役時代の姿を間近で見られる貴重な歴史資料です。

この四等閃光レンズについて、回転機械の改修を行いましたので、回転機械の歴史を振り返りつつ、改修状況を紹介させていただきます。

西洋式灯台の導入と回転機械の発展

日本の西洋式灯台の歴史は、明治二（一八六九）年に東京湾の入口に建てられた観音埼灯台（神奈川県横須賀市）から始まりました。

初期の頃の灯台は、主にレンズが回転しない「不動レンズ」が用いられましたが、灯台の整備が進むにつれ、光をより遠くまで届けることができる、回転式の閃光レンズが導入されていきます。

当時の回転機械は「転轎式」と呼ばれ、レンズ台座の下に取り付けられた車輪が円形の軌道上を転がる仕組みでした。この方式では、回

黄金期でした。

水銀槽式回転機械は、灯台の発展を支える「縁の下力持ち」として重要な役割を果たしました。

無水銀化への転換と旧神島灯台の回転機械の改修

水銀槽式回転機械は優れた性能を持つ一方で、水銀の取り扱いという点においては、課題もありました。

水銀に混入した塵を除去するため、定期的に行う過・清掃したり、あるいは地震の揺れで水銀槽からあふれて細かく散らばった水銀を回収したりと、水銀にまつわる灯台職員の苦労話は多く聞かれます。

さらに、近年「水銀に関する水俣条約」が採択

転抵抗が大きいため、速度を上げることができず、ゆつくりと数分かけて一周するといった状況でした。

このため、船舶から見ても、短い周期で光らせようとすると、レンズの面の数を増やす必要があり、六面、八面といった多面体レンズが使われました（写真2）。

しかし、面数が増えるほど一面のレンズが小さくなり、光力が弱まるという課題がありました。



写真2 美保関灯台の初代閃光レンズ（八面体）

水銀槽式回転機械の登場

この課題を解決したのが、一八九〇年代にフランスで開発された水銀槽式回転機械です。構造はシンプルで、水銀外槽と水銀内槽とい

われて以降、水銀の管理は極めて厳しくなり、水銀の入手・処分が難しい状況となりました。

こうした背景から、灯台を管理する海上保安庁では、水銀を使用しない回転機械への転換・無水銀化が進められています。

これに合わせ、燈光会でも明治村で展示されている旧神島灯台の水銀槽式回転機械について無水銀化を行うこととし、この分野で豊富な実績を有する株式会社太平洋機械製作所に設計・施工を依頼しました。

同社からは、クレーン車などの建設重機の旋回部に用いられる旋回ベアリングを利用した無水銀化案が提示されました。

旋回ベアリングは、比較的安価で、耐久性・保守性にも優れていることから、この方式を採用することとしました。

改修にあたっては、この回転機械が歴史資料であることを踏まえ、できるだけオリジナルの姿を保つよう配慮し、既存の水銀外槽の内部に旋回ベアリングを組み込み、その上に閃光レンズを載せる構造としました（図2 写真6、7）。

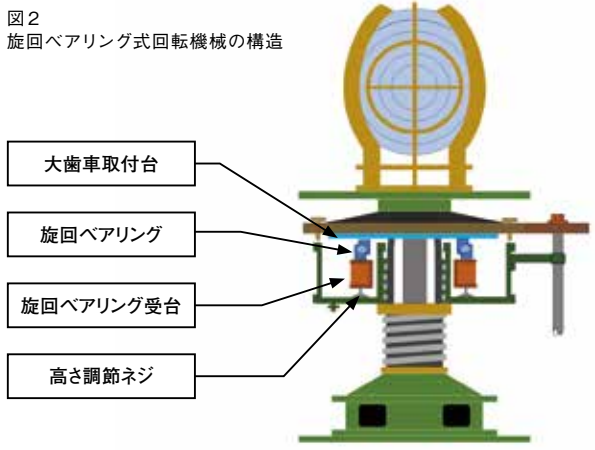


図2 旋回ベアリング式回転機械の構造

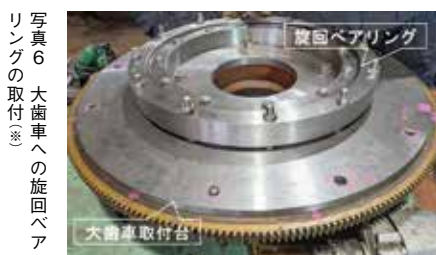


写真6 大歯車への旋回ベアリングの取付（※）



写真7 水銀外装への旋回ベアリングの組込（※）

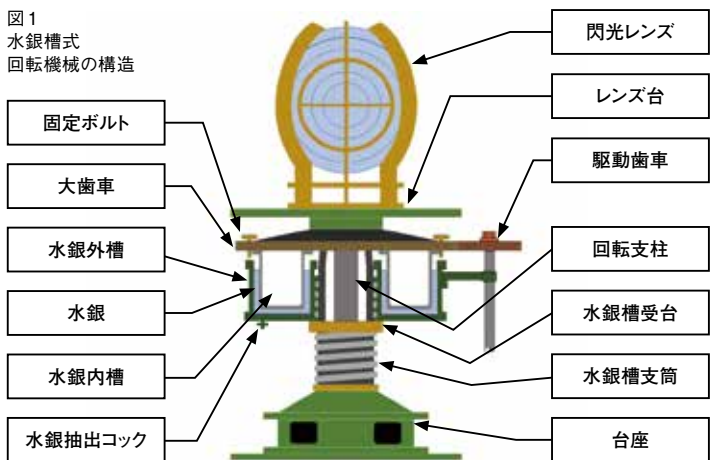


図1 水銀槽式回転機械の構造



写真3 旧神島灯台回転機械の水銀外槽（※）



写真4 同水銀内槽（※）

う二つのドーナツ型の容器で構成されています。内槽は外槽より一回り小さく、外槽にすっぽり収まる形状になっています（図1 写真3、4）。外槽と内槽との間には、五mm程度の隙間があり、この隙間に水銀を注入すると、アルキメデスの法則により内槽が浮き上がるという仕

おわりに

改修後、組み上がった旋回ベアリング式回転機械は、外観的には従来の姿を保ちながら、静かで安定した回転性能を実現しており、今後も貴重な動態展示資料として、その輝きを放ち続けてくれるものと期待しております（写真8）。

新たな技術によって再稼働した旧神島灯台レンズをご覧いただき、灯台が果たしてきた航行安全上の役割と、その背後で技術者たちが積み重ねてきた工夫や技術的進展に思いを馳せていただければ幸いです。



写真8 再稼働した旧神島灯台四等閃光レンズ（※）

（※）写真提供 株式会社太平洋機械製作所



写真5 経ヶ岬灯台 明治31年点灯